



平成27年2月6日

各位

上場会社名 東洋エンジニアリング株式会社
 代表者 取締役社長 石橋 克基
 (コード番号 6330)
 問合せ先責任者 経理部長 三代川 康雄
 (TEL 047-454-1521)

平成27年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年11月13日に公表いたしました平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の通期連結業績予想の修正について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	310,000	2,000	6,000	3,000	15.65
今回修正予想(B)	330,000	△7,000	△4,000	0	0.00
増減額(B-A)	20,000	△9,000	△10,000	△3,000	
増減率(%)	6.5	—	—	△100.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	230,124	455	4,942	967	5.05

修正の理由

完成工事高につきましては、今期受注案件の進捗や為替の円安等により、前回発表値(平成26年11月13日付)から200億円増収の3,300億円となる見込みです。

営業利益につきましては、工事最盛期または終盤にあるインドネシア、米国、ブラジル更に中近東、アフリカ案件での収支悪化に伴い、前回発表値から90億円減益の△70億円となる見通しです。

また、不動産売却に伴う関連費用が発生することと、一部の持分法関連会社の収支下振れを考慮した結果、営業外損益が前回公表値ベースから10億円悪化し、経常利益については100億円減益の△40億円となる見込みです。さらに、現行の中期経営計画におけるEPC事業への集中化方針に則って、IT事業子会社の一部株式の売却や不動産事業の売却を行う結果、投資有価証券と不動産事業の売却損益等を特別損益に見込み、当期純利益は、前回発表値から30億円減益の0億円となる見込みであります。

なお、新規受注プロジェクトが増加し、来期以降の収支回復が見込まれることも踏まえ、配当につきましては、期首公表のとおり、期末配当は4円とし、すでに実施済の中間配当4円を含め、年間配当合計は、8円を予定しております。

(注)上記の業績予想および配当予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合がございます。

以上